

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（課長等）	26年 9月 30日
2次評価日（部長等）	26年 10月 1日

# 施策評価表

## 1 施策の概要

施策名	農林漁業の振興	コード	2-4
この施策の主な内容（細施策）	①農業の振興、②林業の振興、③漁業の振興		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	地産地消や農地の保全を進め、都市型農業の活性化を図る。 計画的な造林や育林を進め、森林の適切な保全を図る。 外来魚の駆除や漁業資源の育成などを進め、諏訪湖の漁業振興を図る。		
担当部課	部 経済部	課等 農林水産課	作成者 小河原 義友

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\* 第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度			26年度	27年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 遊休農地面積	ha	10.8	10.0	10.0	9.8	102.0%	10	10
指標説明	数値が低くなるほど、達成度が高くなる。 現存の市内遊休農地面積。指標の増減により農地の保全状況が把握できる。							
② 民有林年間間伐面積	ha	94	181	100	118	117.8%	100	100
指標説明	市内民有林の年間間伐面積。指標の増減により森林整備の進捗状況が把握できる。							
③						#DIV/0!		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	158,916	130,640	159,060	122,120
人件費	91,920	92,080	87,120	87,120
合計コスト	250,836	222,720	246,180	209,240

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\* 25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

農業振興では、野菜栽培の知識習得と農業を始めるきっかけづくりとして研修農園とプランター栽培講習を昨年に引き続き実施するとともに、直売所の活性化、学校給食への地元農産物提供の促進などにより、地産地消の推進が図られた。  
遊休農地解消では、農地貸し借りマッチングを「遊休農地貸借促進事業」として取り組むとともに、増加する有害鳥獣対策として、国の交付金による電気柵の設置や、ニホンジカの駆除に対する奨励金を新設し、農作物等への被害の防止と農地の保全に努め、施策指標に成果が現れた。  
林業振興では、間伐を中心とした森林施業により市内の民有林整備が進み、総合計画の目標である年間間伐目標面積100haを達成することができた。また、市有林の保育事業や、鳥獣被害対策として立ち木の樹皮剥ぎ防止対策を国の補助事業を活用し実施し、森林保育に努めた。

\* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	農林業の各種団体等が活発で、行政と連携した振興施策の推進が図り易い。 各担当職員の熱意と行動力。
岡谷市の弱み	農業従事者の高齢化と担い手不足。 鳥獣害による農業・林業被害の増加。

### 5 今後の外部環境の変化

\*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	・鳥獣被害対策に向けた国の施策。 ・自然災害に対応する国の森林整備施策。
不利に働くもの	・農業従事者の高齢化と担い手不足。 ・鳥獣害による農林業の被害の増加。

### ●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

### 6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

#### ●基本的な考え方

\*優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
\*見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	平成25年度に実施した、ため池一斉点検の結果に基づき、廃止等を行う事業計画の策定を行う。農業振興地域で農地維持支払いを実施する。道整備交付金を活用し、林道高尾山線の整備を実施し、基盤整備を図る。老朽化した林道に架かる橋梁の詳細点検を実施する。
見直しを行う分野	鳥獣被害軽減対策について、林務管理費へ計上していた予算分を農業振興事業費へ移動し、予算計上を一本化する。

#### ●27年度の優先度

\*事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け  
A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標			妥当性	方向性	優先度
							23年度	24年度	25年度			
1	内部	あり	農業委員会事務	—	—	—	23年度	9,216	16,000	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	9,811	16,000			
							25年度	10,476	16,000			
							26年度	9,217	16,000			
2	一般	なし	農業振興事業	事業件数	件	—	23年度	13,136	30,240	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	14,533	32,000			
							25年度	17,417	29,200			
							26年度	15,730	29,200			
3	内部	あり	農業用施設管理事業	—	—	—	23年度	6,035	800	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	5,382	800			
							25年度	8,115	800			
							26年度	5,565	800			
4	内部	あり	農道水路管理事業	—	—	—	23年度	5,426	2,880	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	6,114	2,880			
							25年度	5,271	2,880			
							26年度	5,496	2,880			
5	建設	あり	農道水路整備事業	進捗率	%	—	23年度	43,499	—	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	2,835	4,960			
							25年度	12,114	4,960			
							26年度	3,000	4,960			
6	内部	あり	市有林管理事業	—	—	—	23年度	2,124	3,920	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	1,915	3,920			
							25年度	4,065	3,920			
							26年度	1,259	3,920			
7	内部	あり	市有林整備事業	—	—	—	23年度	19,404	6,000	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	6,175	6,000			
							25年度	4,841	6,000			
							26年度	8,500	6,000			
8	内部	あり	林業総務管理事務	—	—	—	23年度	1,536	2,560	高い	継続して実施	B：現状維持
							24年度	1,551	2,560			
							25年度	1,438	2,560			
							26年度	1,392	2,560			

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\*優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \*見直しを行う分野 =優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	平成25年度に実施した、ため池一斉点検の結果に基づき、廃止等を行う事業計画の策定を行う。農業振興地域で農地維持支払いを実施する。道整備交付金を活用し、林道高尾山線の整備を実施し、基盤整備を図る。老朽化した林道に架かる橋梁の詳細点検を実施する。
見直しを行う分野	鳥獣被害軽減対策について、林務管理費へ計上していた予算分を農業振興事業費へ移動し、予算計上を一本化する。

●27年度の優先度

\*事務事業の方向性が「継続」の事業についてA~Cにランク付け  
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、-：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費		人件費		妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度			
9		内部	あり	分収造林事業	-	-	-	28,425	2,880	高い	継続して実施	B：現状維持	
							-	12,038	2,880				
							-	29,596	2,880				
							-	23,400	2,880				
10		内部	あり	林務管理事業	-	-	-	11,935	4,880	高い	継続して実施	B：現状維持	
							-	15,149	4,880				
							-	9,001	4,880				
							-	7,073	4,880				
11		内部	あり	林道等管理事業	-	-	-	6,740	2,240	高い	継続して実施	B：現状維持	
							-	5,428	2,240				
							-	5,340	2,240				
							-	5,154	2,240				
12		建設	あり	林道整備事業	進捗率	%	71	23,625	2,560	高い	継続して実施	B：現状維持	
							90	23,514	2,560				
							115	32,928	2,560				
							-	16,625	2,560				
13		内部	なし	水源の森保全事業	-	-	-	8,694	2,880	高い	継続して実施	B：現状維持	
							-	8,754	2,880				
							-	8,761	2,880				
							-	8,762	2,880				
14		内部	なし	林業振興事業	-	-	-	13,289	5,280	高い	継続して実施	B：現状維持	
							-	9,944	5,280				
							-	8,707	5,280				
							-	10,007	5,280				
15		内部	なし	水産振興事業	-	-	-	990	80	高い	継続して実施	B：現状維持	
							-	990	80				
							-	990	80				
							-	940	80				
16													
17													
18													